

## 新年度予算情報

# 沼中2期工事に4億3千万円



中庭から見る校舎外観

沼田中学校の新築工事は2年計画の2年目で今年度の7億7千万円に加えて、新年度は4億3,576万円で、合計12億円余となります。この他、白沢中学校屋内運動場の実施設計料415万円が計上されています。

## 川田小・西中は補正予算で7億3千万円

川田小の東校舎の耐震大規模改修は12年度補正予算第5号で3億5千万円が、西中屋内運動場の建設には、安倍政権の緊急経済対策の対応する12年度補正予算第6号で3億8千万円が予算化されました。



大規模改修が予定されている東校舎

## 新児童手当は8億3千万円

昨年6月から「子ども手当」は、児童手当に戻りました。新年度は、3歳未満児は1万5千円、3歳以上小学生は1万円で、第3子以降は1万5千円、中学生は1万円です。所得制限以上の世帯は特例給付として1人5千円が支給されます。

ほとんど以前の児童手当に戻りました。しかし、年少扶養控除などの廃止・縮小はそのまま、民主党が行なったことは何だったのか、責任が問われます。



## 生活保護費削減は8月から

安倍政権が進める生活保護費の削減は、8月から本市でも始まります。扶助費を3年間で6.5%670億円を削る計画です。沼田市の今年度では1.5%分約240万円が削減される予定です。

## 市議会情報 3 請願採択し意見書提出へ 年金2.5%削減中止を

全日本年金者組合群馬県本部・利根支部 林マツ支部長から提出されていた「年金2.5%削減の中止を求める意見書の請願」および、沼田精神障がい者家族会（あおぞら会）高橋達雄会長から提出されていた『『こころの健康を守り推進する基本法（仮称）』の制定を求める意見書提出に関する請願書』および、前議会から継続審査になっていたB型肝炎・C型肝炎全国センター・救済群馬の会 安井朱美代表から提出されていた「B型肝炎・C型肝炎患者の救済に関する意見書採択の請願」の3つの請願はそれぞれ全会一致で採択され、内閣総理大臣はじめ関係省庁等に沼田市議会議長名の「意見書」が提出されました。



## 高齢者の自主的地域活動に支援を

### 井之川博幸議員の一般質問報告2

井之川博幸議員は、会員数約200人、囲碁、俳句、パッチワークなど18のサークルが活動し、年間のべ3700人程の高齢者が利用している桜町地域に設置されている「いこいの家」に対する市長の評価についてまず確認し、事情があつて閉鎖されてしまうが、同様な「家」があれば、同様な活動もできるので、高齢者の地域活動における施設整備や拠点施設の家賃助成制度の仕組みをつくるよう求めました。

市長は、「この取り組みが、高齢者の活動の場としての役割を担っているもの」と評価し、「超高齢化社会を迎える本市に適した施策のあり方について研究してまいりたい」と答えました。

つぎに井之川議員は、医療における安心できる地域の構築と行政の役割について、また、沼須産業団地に進出する利根中央病院への支援について質しました。

市長は、「関係自治体とも連携してまいりたい」、また支援については「遺漏のないよう対応していきたい」と述べました。

2013年3月31日	No.649
<b>いのさんニュース</b>	
発行所沼田市下久屋町983	☎23-1519
井之川博幸議員活動地域版部内資料	